

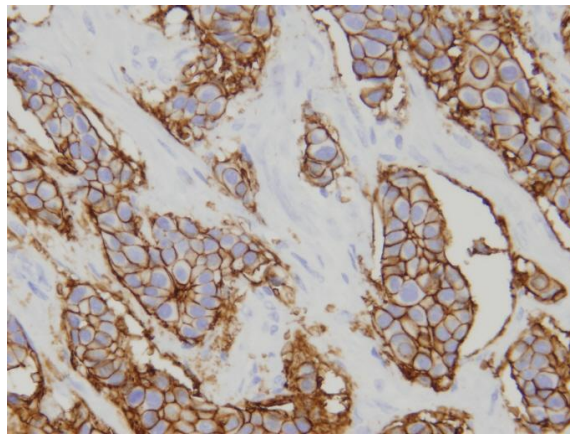
けんさ Now (病理) コンパニオン診断

医薬品の効果や副作用を投薬前に知るため行われる臨床検査のこと。薬剤に対する患者個人の反応性を治療前に検査することで、オーダーメイド医療を推進するために用いられる。検査材料は、癌組織の生検・手術臓器・血液・体腔液・気管支洗浄液等で、検査方法として免疫組織化学・FISH・RT-PCR・フローサイトメトリー等が用いられる。今後さらに分子標的薬が開発され、個別化医療の方向性はますます多様性を増すと考えられている。

表1に主なコンパニオン診断を記す。

表1 分子病理マーカーと対応疾患の分子標的治療薬

| 分子病理マーカー | 疾患 | 分子標的治療薬 |
|-----------------------------|----------|-------------------------|
| エストロゲンレセプター プロゲステロンレセプター | 乳癌 | タモキシフェン |
| HER-2 | 乳癌 | トラスツズマブ |
| EGFR/HER-1 K-ras | 大腸癌 | セツキシマブ パニツムマブ |
| EGFR/HER-1 | 肺癌 | ゲフィチニブ エルロチニブ |
| CD20 | B細胞リンパ腫 | リツキシマブ |
| Bcl-Abl | 慢性骨髄性白血病 | イマチニブ ダサチニブ ニロチニブ |



免疫組織化学染色 Her-2 (3+)